

Press Release

2014 年 1 月 31 日

報道関係 各位

小田原市の公式ホームページへ、Web フォントサービス「FONTPLUS」導入 ～多言語対応や文字サイズ変更など、Web フォントの特性を最大活用～

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（代表取締役社長 CEO：阿多 親市、本社：東京都新宿区、以下 SBT）は、神奈川県小田原市（市長：加藤 憲一、以下小田原市）の公式ホームページ（<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/>）に、Web フォントサービス「FONTPLUS（フォントプラス）」が導入されたことをお知らせします。

■ 「小田原市公式ホームページ～市民の力で未来を拓く希望のまち～」の画面



小田原市は、2013 年 12 月、公式ホームページのリニューアルを機に FONTPLUS を導入しました。

5000 ページを超える大規模サイトのため、目的のページを直感的に見つけられるように、多くの写真と写真上の文字でコンテンツを表現しています。従来は画像で制作していた見出し・バナー等に Web フォントを用いることで、ページのほぼ全体が自動翻訳ツールや文字サイズ・文字色の変更機能と連係し、ユーザに合わせて変化するサイトが実現されました。

今回の導入により、小田原市はサイト更新時の工数を大幅に削減し、よりユーザにやさしく見やすい「小田原市の顔」として、公式ホームページを運用することができるようになりました。

■ 導入の背景

小田原市公式ホームページは、市の職員が CMS（Content Management System）を利用し、更新を行っています。そのため、デザイン的に文字画像のボタンなどを利用したいと考えた際は、職員の利用するパソコンに画像編集ソフトを導入する必要があったり、ソフトを扱う職員にも画像編集のスキルが必要であったりと、ボタン画像を一つ作るためにも様々な課題がありました。

『報道関係者様からのお問い合わせ』

管理本部 経営企画部 陣野

TEL:03-5206-3316 Email:sbt-pr@tech.softbank.co.jp

『お客様からのお問い合わせ』

お客様窓口

TEL:03-5206-3340 Email:sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp

また、画像で作成した部分はアクセシビリティツールの「文字色変更」を適用しても色が変わらない、各国語への自動翻訳機能にて画像文字の部分だけ翻訳されないなど、実際の運用面での不便さも抱えていました。

そこで、更新の手間を軽減しアクセシビリティツールをフルに活用するため、Web フォントの導入が決定されました。サービスを検討する中で、文字表示の速さや美しさ、フォント種類の豊富さが評価され、FONTPLUS が採用されるに至りました。

SBT は、今後も FONTPLUS のサービス向上へ積極的に取り組み、より Web 制作分野で有益なサービスへと発展させてまいります。

▼ サービス導入に関する詳しい情報は以下の WEB サイトをご参照下さい。

<http://webfont.fontplus.jp/contents/exampleview/dxxFraXyKZ4%3D>

▼ FONTPLUS に関する詳しい情報は以下の WEB サイトをご参照ください。

<http://webfont.fontplus.jp/>

■ 小田原市について

小田原市は神奈川県西部に位置し、豊かな自然、温暖な気候、悠久の歴史、古くから続くなりわいや文化、交通の要衝と、地域資源に恵まれた特例市です。市の情報を伝える公式ホームページにおいても、新しい技術やサービスを常に研究し、サービス向上につなげることを目標に取り組んでいます。

■ 小田原市 概要（平成 26 年 1 月 1 日現在）

市役所所在地	：〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪 300 番地
市制施行	：1940 年 12 月 20 日
人口	：195,958 人
世帯数	：79,782 世帯
面積	：114.06km ²
URL	： http://www.city.odawara.kanagawa.jp/

※本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。